

# 戸塚南小あすばるエコクラブ

# 活動報告2021

戸塚南小あすばるエコクラブは戸塚南小学校の環境活動をさらに地域の中でひろげていきたちという願いでスタートしました。戸塚南小学校と小学校に隣接した戸塚児童センター「あすばる」と協力して活動を進めています。

戸塚南小学校の南側には斜面林があります。斜面林は、宅地化が進む戸塚では、とても貴重な「残された自然」となっています。エコクラブでは、この斜面林を中心に活動を行っています。斜面林には竹林ゾーンと樹木ゾーンがあります。

## 竹林間伐

竹林はそのままでは竹が密集して繁り、やがて竹は光を求めて、竹林ゾーンの外へ樹木ゾーンにまで根を延ばしていき、樹木を枯らしてしまいます。そこで竹林の間伐が必要です。エコクラブでは、年に4回の竹林間伐を戸塚南小学校、戸塚児童センターあすばると協力して行っています。

### 6月12日の竹林間伐



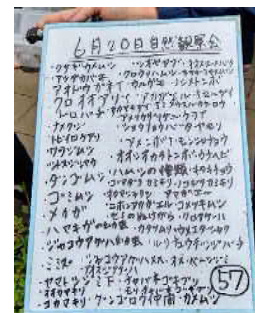
竹林間伐は竹林の大切な手入れとなっています。竹林を管理しながら、竹林の恵みももらっています。

### 10月9日の竹林間伐ともの作り 竹ぽっくり作り



## 春

季節ごとの自然観察会と屋上学校ファーム  
戸塚児童センターあすばると協力して進めています  
6月20日



斜面林で草花遊びや生き物調べ

## 夏

9月17日 バッタ選手権



バッタをさがして、バッタの種類を調べてバッタのジャンプを競う、バッタ選手権！

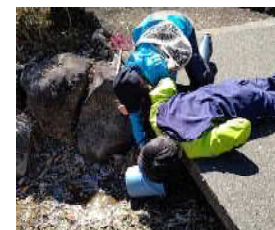
## 秋

11月20日 学校ビオトープの手入れ 焼きイモ



## 冬

昨年度 3月 アカガエルの産卵調べ  
斜面林の水路には井戸を掘り、水路の水をよみがえらせ、アカガエルを育てています。毎年産卵が見られるようになりました。



自然を守り育てるジュニアリーダーを育てていきます

# 安行小こどもエコクラブ 活動報告2021



安行小は学校ができてから148年目。川口で1番古い学校です。校庭には大きな木がたくさんあります。これはクスノキです。安行小学校のシンボルです。高さはなんと26m！もう一本、大きな木があります。これ（右下）はケヤキの木です。

安行小学校はどこを見ても木や草花に囲まれた緑豊かな学校です。安行小こどもエコクラブは3年前に始まりました。安行の豊かな自然に親しみながら、生きもの調べや植物調査をして、安行の自然を守り育てるジュニアリーダーを育てています。

## ケヤキのブランコ

今年、安行小フレンドエコパーク11月7日（日）には校庭のケヤキの木でブランコを行いました。



ブランコが終わったら木に「ありがとう」と必ずあいさつをします。木と友だちになります！

## たくさんの生きものたち

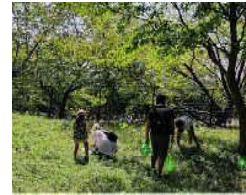
安行小学校ではたくさんの生き物を育てています。ヤギ飼育、ホタル飼育、カブトムシ飼育、カイコ飼育にも取り組んでいます。昨年の夏8月5日、ヤギの赤ちゃんが2匹産まれました。ヤギは親もふくめてみんな安行小で産まれて育っています。



ときどき校内を散歩するヤギ  
エコ除草で雑草を食べてくれます

安行小の校庭だけでなく、もう1つ自まんの場所があります。学校のとなり「安行原自然の森」です。自然の森は昔の安行の自然がそのまま残っています。台地林に斜面林に低地があり、豊かな植物があり、生きものもたくさんいます。エコクラブでは、この森で季節ごとに自然観察会を行っています。

## 安行原自然の観察会 9月23日



バッタを観察、つかまえて…



## バッタ選手権



競技台から跳ばして、その距離を競います



バッタ選手権を通して森の生き物と親しみます。絵本を聞きました。終わった後は放しました

## 10月31日 どんぐりゴマ大会



森のどんぐり、クヌギ、コナラ、シラカシをひろってこまを作りました。



大人も子どもも交じって真剣勝負 森の秋を楽しみました

# 白岡市西児童館

## こどもエコクラブ

「白岡市西児童館 こどもエコクラブ」は今年度主に、児童館の裏にある畑と児童館の周り、児童館内で活動をしています。エコとは何かみんなで考えながら活を行っています。

4月「エコクラブ活動スタート」  
エコクラブの活動が始まりました。まずは夏野菜を植えるために児童館の畑の整備(草とり)をしました。みんなで「おかしな草」から作業を行うとはやい!! 草とりの後はどんな野菜を植えたか考えました。さらには野菜も植えて育ててい!! は、自分で「火の整備を行うので、育てる楽しさ、食べる楽しさ普段よりも楽しさが倍のようでした。



畑の中にはたぐんのはき草がいきました。はき草は火の中やどんな準備をしているのかみんなで考えました。



5月はコロナ感染拡大防止のためエコクラブは中止としました。



じゃがいも掘り、火を見ると蒸ばかりでどとにあるのか不思議〜。下にあるん!!

こんなにたくさん収穫できました!!



6月「じゃがいも掘り」  
じゃがいもが収穫の時期にきたので、まことにじゃがいも掘りを行いました。じゃがいも掘り方を教えてもらいながら、大きなじゃがいもや小さなじゃがいも、早稲とノコギリと種類の違う芋を見つけてながら作業していました。とととたぐんのはき草が収穫できて、大喜びでした。自分で育てた野菜を自分で調理したい!! とお思いで作りました。

8月「エコ工作 ~月華鏡~」  
中華のバロクを作ると月華鏡づくり!  
「中華バロクでつくれるの?」と不思議そうにしていた旨、サボターの輪切りにありながら、キレイな月華鏡を作る事ができました!!  
「中華バロクも工作につかえるんだね」と、家にあるもので作る工作が楽しみなな.ようにした。



9月「冬野菜の苗植え」  
8月で夏野菜の収穫が終わりなので、火の整備をし、冬野菜の苗植えをしました。火の草を取り、耕し、途中に土の中にいる生き物を見つながら作業をしました。「この虫はトマトやピーマンの葉を食べたのかな?」など虫や野菜を大切にしようと思いながら作業をして、冬野菜の苗を大切にしようと思いながら作業をして、冬野菜を作ってくれる人達に感謝を伝えたいように..

種まき基地おたいな



10月「新聞紙工作」  
子ども達が新聞紙を使って工作をしたという事で、普段は回収などに出す新聞紙を使って、「新聞紙の家」を作りました。はじめは崩れていた家も、組む方法をかえながら... ついに完成しました!!



11月「エコ新聞づくり」  
西児童館にてエコ新聞をつくりました。どんな新聞をつくりたいか、皆で話し合い、似顔絵を描いたり、写真を切って貼って、なんと完成!!



みんなで作って楽しませてくれる!!  
みんな真剣!!



# 河合小エコクラブ

## ～地域の動植物を守る環境教育～

**活動地域** 河合小学校、学区内の水田、赤坂沼とその周辺のグラウンド

### 目的

河合小学校は自然林や元荒川、赤坂沼など、周囲の自然に恵まれた学校で、ミドリシジミなどの貴重な生き物も多く生息しています。地域の環境ボランティアの方の支援によって環境についての学習を行い、児童は「自然を大切にしよう」「郷土を愛していこう」という意識が高まっています。「地域の動植物を守る環境教育」は、地域の特色を生かし、地域の自然環境を観察したり、植物を育てたりする活動を通して、自然環境に対する意識を高め、自然を守る実践力を育てています。

### 活動内容

#### 5年生 お米作り体験～「お米探検隊」～

5月に5年生が地域の水田をお借りして田植え体験を行いました。河合小のお米づくり体験では減農薬栽培のため、ミズウラボシなどの貴重な植物が残っています。稲を育てることで、農家の人の想いや田植え、稲刈りの方法を学びます。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため稲刈りは中止となりましたが、ボランティアの方々から新米「彩のさずな」を提供していただき、全校児童が給食でおいしくいただきました。

手で植えるのはたいへんだ～！



今の田植え機ってGPSで全自動運転だなんてすごいな～！



#### 全学年 花いっぱい運動

今年度も緑化活動に取り組んでいます。河合小学校は、年間を通して花いっぱいの学校です。季節に応じた各学年や委員会の植物にかかわる活動、野菜などの収穫を通して、生き物を守り育てる大切さや感謝の気持ちを実感できるようにしています。

#### 3年 地域の自然環境を観察～「赤坂沼探検」～

毎年5月・11月の2回、環境教育ボランティアの方に同行していただき、赤坂沼とその周辺の林、水田の自然観察をします。野鳥観察、植物採集など、五感を使った学びを重視し、この学びを通して、子どもたちは昆虫や植物に興味をもつようになりました。

昨年度に引き続き、観察池で育てた動植物を赤坂沼に還し、貴重な動植物を守る活動に力を入れています。そのため、植物の種の採取や、校内の観察池の環境整備を行っています。観察池ではタコノアシ・ショロウスゲ・ミソコウジュ・アサザ・タヌキモなどを育てています。学校のプールには、毎年トンボが卵を産みに来て、ヤゴが育つので、清掃の前に捕って成長の様子を観察しました。ボランティアの方と一緒に、観察や調べ学習を行い、赤坂沼の自然の素晴らしさやよさにふれ、自分たちができる「よい環境づくり」と「自然を守る」活動を展開しています。

これはめずらしい木の葉だよ



大きいバッタをみつけたっ！



ヤゴから成虫(トンボ)へ！



緑のカーテンを5年生3クラス（約25m）に設置  
日光をさえぎり、涼しく過ごすことができました



下新倉  
小学校

環 境  
委 員 会

植物と関わり、環境を  
考える  
委員会活動

パソコンが支給されたので、表示にはパソコンも利用  
植栽や野草園の表示を作り、植物に親しめるよう呼びかけています



卒業式に向け、クリサンセマムを栽培中  
大きく育てば、式の花道に並べます  
水まきは他の植栽やプランターにも行っています



散水には地下の雨水貯留施設にたまった雨水を積極的に使います

太陽光パネルで発電した電気も利用  
発電状況もわかるようにしています



3年ぶりにサケの飼育もスタート  
きれいな水づくりを呼びかけています



Terra 2021

## 自宅にてテレビ電話で報告会

### 活動内容

微生物燃料電池のマッドワットを使った実験した結果の報告会をしました。  
土の中には微生物がうまく働くとLEDのランプが光るという実験もこなさず、結果は誰一人成功  
せませんでした。庭にある土だったり、花壇の土だったり、色々各自試してみました。

### 参加者の様子

何故だろう? どうして光らないのだろう? と書籍を読み直したりして、次はこうすればいいのではないかと  
炭素を混ぜたらどうか? など色々な案が出ました。失敗から色々な学ぶ事も大切だなと思ひました。

### 気づいたこと

酢も少し混ぜると良いという事が全員が思ったのですが(少し)という表現がほとんど難(い)という結果  
になりました。"少し"は、数滴なのか、スプーン大か、杯位なのか、と色々な議論になり、親としても  
気付かされる事が多かったです。

### その他

土の中の発電菌は、まだわかっていない事が多く、ミミズ  
やダンゴムシが沢山いるような土で挑戦してみよう!  
となりました。



化石燃料は電気を  
作ると二酸化炭素が出て  
環境に影響が出て  
しまいますが、菌類や  
生物から明りができるよ  
うになるといいな。と子供達が  
地球温暖化や自然環境  
を考える良いきっかけになりました。



電  
農林公園  
にて



## 自然っ子クラブ

活動場所は、川口の北の方の、自然公園の近くの見沼自然の家です。21年前に、代表の神山先生が、当時教えていた芝富士小学校のお母さんと子供たちとで作りました。今は、84家族が入って4つの活動



をしています。

### 一つ目の活動：田んぼの活動

- ・6月に田植えをしました。
- ・7月、田んぼの生き物調べ



密になるといけないので、3つのグループに

分けました。見沼代用水では、網掛けと釣りをしました。田んぼでは、稲のまわりの生き物をつかまえました。原っぱでは、ミツバチの生活について話を聞きました。



ドジョウとハイロゲンゴロウ・カワニナ・イトミミズなどが見つかりました。

- ・10月、グラウンドワークの活動での稲刈りです。今年は、2回に分けました。9月12日アカマイ・クロマイ・アカマイ 10月30日ミドリマイです。

たくさんのお米ができました。



- ・12月、収穫祭です。昔のお米の収穫の仕方です。

初めに、ガーコンでイネから、お米の入ったもみを取ります。すり鉢に、モミを入れてボールでもみ殻とお米に分けます。それを、トウミにかけて、分別します。最後に、1ショウビンに入れて、お米を精米しています。



ここでも、コロナの影響で餅つきはできませんでした。残念。

- ・しめ縄かざりづくり

10本を3組作ってねじります。すてきなしめ縄ができました。



### 二つ目の活動：育てて、ものづくり

5月、サツマイモを植えました。焼き芋は、おいしかった。アイも植えました。



ものづくりは、ほかにも自然のもの、どんぐりや木で、ブローチ作りです。

### 三つ目 自然観察・生き物調査

自然観察といえば、植物の会の西川先生です。虫博士の吉野さんと虫さがし



### エコ活動① 外国への支援

みなさん、ボルネオという島を知っていますか？ジャングルのある南の島です。日本から飛行機で5時間半で行けます。みなさんの生活にとっても関係のある島です。

そのジャングルが畑にかわっています。

はじめに、木を切り日本に輸出します。

そこに、パームヤシを植えます。

畑をつくります。



ぜつめつしろうなオランウータンです。



こんなクリガタ、カブトムシ。



ジャングルです。



そこに、畑ができ、パームヤシを絞ると、油が取れます。その油であげたのがみんなの好きなポプスです。ラーメンをあげる油もそうです。他に、チョコレート、マヨネーズなどの植物油はほとんどが、パーム油です。日本人一人年間5kgも取っています。

そのために、ボルネオでは、ジャングルがなくなりそうです。



私たちの安くて豊かな生活は、同じ地球に住む生き物たちのすむところをうばっています。そのことを、考えていざいしょう。



## 在家小学校エコクラブ

在家小エコクラブは、川口の北の方の芝川のそばにあるエコクラブです。

### エコ活動① 古紙回収をします。

古紙を集めます。すてる前に、資源として使えるもの、新聞、ダンボールなどに分けて回収します。

### エコ活動② 古紙回収に協力するとエコチケットがもらえます。

学校で使えるお金のようなものです。年に1回エコ市場がひらかれます。エコな商品を作ってお店を開きます。材料は、ペットボトルや牛乳パックなどです。4年生が、お店を開きます。



1

### エコ活動③ ピオトープの手入れ

学校に、生きもののすみかを作っています。子ども達で、ピオトープに植田行きをえらんでもらって、移植します。

水辺ランドの水の中の整備。今年は、ギンヤンマのヤゴやメダカをたくさん、見つけました。

ウシガエルも、1匹見つかりました。

校庭の周りの植え込みも、背丈が高くなっているので刈り込みました。草原にしている所も、木の苗が生えて大きくなって来たので根元から切りました。

### エコ活動④ 畑で野菜を作っています。

ジャガイモ・ミニトマト・カボチャ・ハクサイ・キャベツ・シュンギク・ねぎなど一年を通じて野菜作りをしました。小さな種や苗から、大きなダイコンやカボチャになっていくのが見られて、よかったです。サツマイモも植えました。とれたイモで、焼き芋もしました。



2



今年は、コロナのせいでカレーパーティや鍋の会は、できませんでした。

### 四つ目の活動：学習してできる活動しよう。

世界には、とても貧しい国があります。ラオスという国の学校です。今は、支援して建て替わりましたが、こういう屋根に穴の開いている学校は、今でもあります。

文具を集めて、2月にもっていらいました。えんぴつ、ボールペンを集めています。教科書やノートは、募金で買って持って行った



教室で、子ども達は「コープチャイ」という鉛筆などを受け取ってくれます。ありがとうという意味です。

今年は、日本語で読み聞かせもしました。

少数民族のモン族の子ども達は、弁当を持って来ることができないので、お昼休みに刺繍をしていました。作ったものは、学校が終わると村に帰って自分の家のお

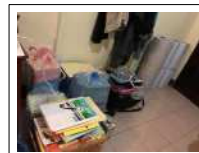


3

店に出します。民族衣装に着替えてお店で、売っています。よく働く子達です。



この方は、赤尾さんといって、ラオスに小児医療病院を建てて運営している日本人です。フレンズという団体が、貧しくて医者にかかれない子達の健康を見ている方です。ここにも、小さな子の喜ぶおもちゃを送っています。



本もないそうなので、4年前から、絵本を集めました。日本の本にラオス語を振って持って行ってもらいました。幼稚園からいただいた服も持って行きました。



4



春日部市立八木崎小学校  
 グリーンボランティアクラブ 活動紹介レポート  
 八木崎いいことゴーゴーV



本校は、たくさんの花々と緑に囲まれた美しい学校です。  
 グリーンボランティアクラブと先生たちが、年間を通して  
 世話をすることにより、この環境を維持しています。



春

除草作業や芝生、ピオトープの手入れ、  
 毎日の水やりなど、作業が多い季節です。

夏

今年も、学校近くの農家  
 の方や春日部中央ライオ  
 ンスクラブの皆様にご協  
 力いただき、「田植え」  
 や「かかしづくり」等の  
 体験をしました。稲刈り  
 をした後は、学校の鉄棒  
 にも干しました。

みんなで協力して草花を育てます！

落ち葉止めとして、アカメガシ(レト・ロピン)を周囲に植えました。



2年前

今年

1年前

アカメガシも立派に成長し、  
 効果を発揮しています。

本校では、2年前から、落  
 ち葉止めとしてアカメガシを  
 植えています。「地域に落ち  
 葉が出ないようにしたい」と  
 という子どもたちの意見から実  
 現しました。  
 効果は抜群で、落ち葉を  
 しっかりと受け止めてくれて  
 います。



来年に向けてパン  
 ツーを植えました。

学校近くの神社に、どんぐり拾いに行きまし  
 た。このどんぐりを育てて、市内にできた新  
 しい公園に植樹します。

秋

秋は、毎朝落ち葉掃きをします。  
 落ち葉は腐葉土や子どもたちの  
 作品作りに生かされます。また  
 学校を、美しい紅葉に彩ります。

## 令和3年度秩父こどもエコクラブの活動

目的は、ハイキング、自然観察、カヌー教室や落ち葉・枯れ木・流水・石等を材料としたクラフト等の遊びを通して自然を学び、自然と人間とのかかわりを知り、自然を大切にすることを育てる。荒川等の清掃のボランティア活動によりボランティア精神を育て、環境教育をはかる。また、これらの活動を通して創造力と豊かな心や生きる力を育てることを期待する。

本年度もコロナ禍の影響で行事ができませんでした。

### 令和3年4月2日 親子ふれあいハイキング

旧荒川村をハイキングしました。桜の観賞をしながら、「秩父の成り立ちを知る」、「浦山ダムの役割と環境」を学びました。埼玉県指定のしだれごらは、満開で美しかったです。それまで、昔から、人々から親しまれてきました。昌福寺は高台にあり、秩父盆地が見渡せました。サクラもきれいでした。そして、浦山ダムの北は海でした。ながめて海を想像してみました。

#### ◎ サクラ

野生種：バラ科、自然のままに育った野生種は、11種だと言われています。エドヒガン、ヤマザクラ（花と葉が同時）、野生種です。人が育てて変わって名前がついたものは、栽培品種というので、図鑑には含まれないそうです。しだれごらは、エドヒガンを改良したものなので野生種ではないです。

用途：くだもの、桜餅、餅漬け・塩漬け、お祝いの桜餅。木材、木の皮工芸。

文化：櫻の葉（奈良時代から）、花言葉（精神の美しさよい、はかない、みやびやか・優美な女性・優れた教育）。桜には製物の神が宿る。農業の開始指標。



昌福寺 さくらがきれいでした



秩父湾の端に位置する昌福寺

#### ◎ 古秩父湾

古秩父湾は、1700万年前にはすでにあり、1500万年前に、東側が隆起し、湾は長瀬辺で狭められた。そして、秩父湾は消滅して、秩父盆地の基ができた。100万年前に、埼玉県秩父と東京都奥多摩が隆起して秩父島になった。その後、10万年前陸地に海が侵入。7万年前に海が後退し海底だった秩父盆地が陸地になりました。

(1億年前から1700万年前の間の連続経緯は解っていない)。

#### ◎ 清雲寺うらの若御子断層 古秩父湾

若御子断層：4億年前～2億年前の地層が1500万年前に東側が隆起した際の、地層のずれができて断層となった。断層の落差は1000メートルにおよぶことを知りました。断層とは、地層と岩石が地球の地下でずれるために起こります。その時に地震が起きます。地球の地下は休みなく少しずつ動いています。

#### ◎ ダムの役割と環境

役割：洪水調節：大雨の時にダムに川の水を溜めて被害を防ぐ。  
水道用水、工業用水、農業用水、雨のない時不足しないように調節する。  
電気を作る。

環境：ダム湖の水質変化。ダム湖の水温変化。流水の高さ変わるため河岸の土砂が削られる湖底にヘドロたまる。生物への影響。ダムを造る場合は役割と環境の影響のバランスを考慮することが大事です。



清雲寺のしだれ桜を見ながらおいしいお昼をいただきました



上 ダムの上から大昔の秩父湾を望む

左 ダムを見上げる橋の上で一休み

### 令和3年11月14日親子ふれあいハイキング

日曜日の県民の日、そして、天気も良くにぎやかな人出、多量なゴミを予想した。総勢17名でゴミ拾いハイキング。岩だたみを足もとの安全を、気をつけながら歩きます。約2キロの道のりを途中、講師の先生の説明に耳を傾けながら進みます。終わってみると、予想に反してゴミは大変少なかった。ゴミ調査の集計し、連結してあった、長瀬町の職員にゴミを渡し、楽しい昼食とした。おいしかった。

長瀬自然の博物館を見学学習をして帰路についた。

#### ◎ ごみ調査

- ・飲料ペットボトル 1
- ・飲料缶 3
- ・飲料紙パック 2
- ・食品のポリ袋 2
- ・ペットボトルのキャップ 1
- ・飲料のプラスチックキャップ・ふた 1
- ・発泡スチロールコップ・皿 6
- ・のすいごら・フィルター 6
- ・使い捨てライター 1
- ・ポリ袋・シート・破片 2
- ・買物レジ袋 1
- ・ポリ袋 31
- ・かみの袋 1
- ・プラスチックキャップ・ふた 12
- ・ひも・ロープ(1mを1とする) 11
- ・発泡スチロールの破片 2
- ・ガラス・せともの破片 6
- ・その他 2

#### ◎ 博物館見学

博物館見学では、秩父の自然の成り立ちを学びました。特に前回のハイキングで学んだことを復習しました。

3億年前の日本列島は海底だった。それは、秩父の石灰岩は海中生物の死がい積み重なって山となっていることからです。海底火山の噴火や地震変動していた。地震とは、地表から30～60kmのこと。変動とは、陸地が沈んで海になったり、海底が盛り上がり陸地にもどったりくり返すこと。



岩畳の成り立ちを学びながらゴミ拾い



岩畳のくぼみに水たまり  
その中に泳ぐ生き物を見つける

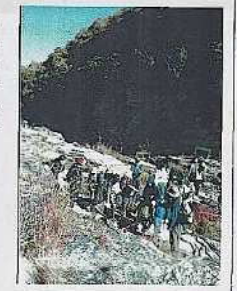
2500万年前、中国大陸から大陸の東がわが、引つ張られるようにして地面が引きのばされた。1900万年には、大陸から離れ始めた。そして、その後、変化しながら日本列島ができた。秩父あたりは、島であり、1700万年前より前から古秩父湾が、あった。破峰山と武甲山をむすぶ線が湾の入り口になり、湾の奥は、小鹿野の観音山(札所31番)と秩父鉄道の三峰口をつなぐ線のあたりと言われています。1700万年前から1400万年前には海底火山の活動になり、1500万年前、東がわが盛り上がり湾の入り口が長瀬あたりだけとなり狭くなった。そして、島全体が盛り上がり陸地となった。今のよう秩父盆地になった。博物館には、島の海に生きていたというパレオパレドキシア、巨大ザメ、チネブサワラの模型がありました。



たくさん模型とほく製がある博物館



意外とゴミが少なかった



岩畳とともに対岸の岸壁一帯かな水の流れー上流の堆積した石ころの丸みと向きの成り立ち等たくさんのごちを学ぶことができた一日

#### 環境日記

環境問題の重要性が言われています。改めて、子どもたちが学び活動のきっかけになれば、コロナ禍で行事ができないこともあり、環境日記を実施しました。また、子どもたちが、環境についてどう考えているか知ることができればと思い実施した。

結果は、感想ですが、環境は、広くまとめるのがむずかしくとまどったようです。環境日記を提出してくれたことには、「なへんだ、知っているよ。やっているよ」という感じでした。真剣に親子で学びつつ環境日記に挑戦したと思います。環境問題は、概念では理解していても、行動としては具体的には、明確には理解できなかったように思いました。サポーターとしても今後の活動の参考にしたいと思っています。

# 三郷ひこいとエコクラブ

## 『水と緑のまち三郷』ひこいとっ子エコプロジェクト

### 緑化活動推進

花壇の整備、緑のカーテン、栽培体験、稲作体験などに取り組んでいます。植物との触れ合いを通し、地域の環境を維持する心を育てています。

#### 学校花壇の充実



#### 緑のカーテン



#### 栽培活動



#### 稲作体験



### 環境整備

皆で協力してゴミ拾いや落ち葉履き、草とりなどを行い、地域の環境保全に努めています。



### 観察池の生態系維持



観察池の清掃を行いました。これまで池にいた生物の仲間も増やしました。

# 所沢サマースクール

星ふる学校  
くまの木

実施期間：2021年8月8日(日)～8月14日(土)／6泊7日  
 宿泊施設：星ふる学校 くまの木(栃木県塩谷郡塩谷町)  
 施設管理者：特定非営利活動法人 くまの木里の暮らし

## <主な自然・自然環境 体験プログラム withコロナ>

### ■withコロナ「新たな生活様式」

宿泊施設と綿密な打ち合わせを行い、栃木県と埼玉県の新型コロナウイルス感染症防止対策に取組み実践してきました。スタッフの事前研修では、国立感染症研究所研究員である保護者に講義をしていただき、熱中症への注意も各めた対応について学びました。

### ■尚仁沢湧水源流ハイキング

名水百選の『尚仁沢湧水』川の源流を知ることが、河川を知ることにつながります。湧き出る水の清らかさに感動しました。



【コロナに負けるな！】昨年度の第37回は中止となった本事業。今年度が38回目となる。新型コロナウイルス感染拡大防止策「新たな生活様式」に取組み実施しました。

所沢市内の子ども達を対象に、「時間割のない学校」を基本理念に、6泊7日の長期宿泊で、野外活動等を通して豊かな感性と自立心を養い、社会性を身につけることを目的に開催しています。また、異年齢集団の中で、リーダーシップを学ぶ場として、中学生・高校生リーダーの育成を進めています。

宿泊施設である、星ふる学校くまの木は、栃木県塩谷町の廃校を宿泊施設に改修した施設で、体育館等もそのまま併設され、その施設で被災体験も盛り込んだ「電気を使わない一晩」の体験プログラムも実施しました。

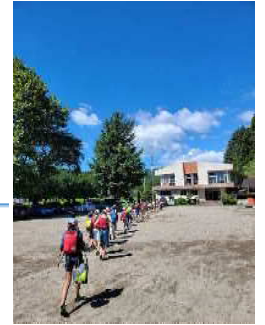
### ■西荒川での釣り体験

女の子も生まれて初めて釣りを体験。自分たちで釣り上げた魚は、ありがたく食べます。「カラムツ」琵琶湖産アユに混じって放流されたといわれている。繁殖力が強く、栃木県内では様々な川から水路に至るまで生息している。



### ■ろうそく作り

蜂の巣を使って「蜜燭」が出来るはず！濃縮してもなかなか固まらず、難しい。いつものろうそくは、色付クレヨンを使い、溶かす温度も自分で調整。



### ■僕らの秘密基地

自然の中で、身を隠す工夫、サバイバルを実践し、ロープワークも学びました。



### ■(食事編)災害時のアルファ米

電気を使わない日。地震などで避難が必要な時避難所で食べることになるアルファ米を体験。



### ■(食事編)かまどを作って飯盒炊飯



### ■西荒川の支流で寶石探し

和名「紫水晶」。アメジストを見つけに山の奥へ進みます。石を見分けてその歴史を考えます。小さな石も大切な宝物です。



### ■水辺の生物 & 出会った生き物たち

スジエビやヌカエビ、シマドジョウなど清流に生息する生物も発見



山の中をハイキングしていると木の上から落ちてくる「ヒル」。血を吸ってパンパン↓

### ■(食事編)牛乳パックでホットドック



### ■(食事編)埼玉県は「うどん」の文化



### ■福徳が揺れる風を感じて

自然の中は、歩くのも楽しく感じる。



コロナに負けるな！2021 所沢サマースクール